

「資源が少ない日本は技術を中心とした国づくりがたいせつです」

村田さんは、都内約70,000件ある中小企業の技術指導を行う元東京都立産業技術研究所所長という役職により、経済産業省中小企業庁政策審議会専門委員など一貫してわが国の中小企業振興の仕事に携わってきた。その間伝統工芸土審査委員、分科会委員を務め、その功績を認められ、大臣表彰を受賞した。伝統工芸士の国家資格を得るには実技試験と筆記試験があるが、分科会委員は筆記試験の試験問題を作成する委員のことで、村田さんは南部鉄器、堺打刃物、金沢金箔など全国13産地の「金属工芸品」の業種を担当している。村田さんは、金属の魅力に惹



むらた ひろしげ
村田 裕滋さん

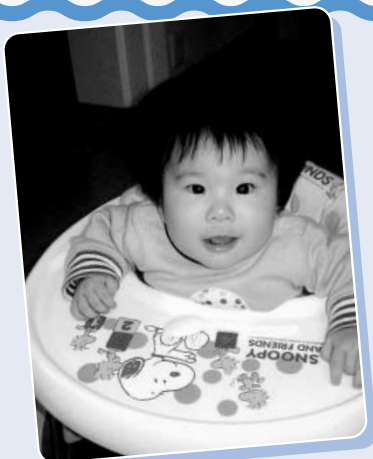
大字小久喜在住。工学博士。技術士（金属部門）。11月7日に平成19年度伝統的工芸品産業功労者として経済産業大臣表彰を受賞。町内でも教育委員、体育協会理事長、ソフトボール協会理事長、新春マラソン実行委員副委員長など多数の役員を兼任。

かれ、大学は金属工学科に進んだ。教授からは大学に残るよう勧められたが、東京都の職員になり研究を続け、昭和60年に「アルミニウムの深絞り加工性に関する研究」というテーマで工学博士号を授与されている。その後、管理職になってからはチタンの研究にも携わり特許も取得した。そして「チタンは加工が難しいものの軽くて強く、人の体にも優しいため眼鏡のフレームや人工の骨などいろいろなものに使われています。これからますます注目される金属ですよ。」と、専門家でありながらだれにでもわかりやすく、常に言葉を選んで話してくれる。その経験を生かし、町内の小学校で理科の特別授業も行った。そんな村田さんは「子どもたちの理科はなれが心配です。自然科学が国家の基本にならなくてはならない。日本は資源が少ないので技術を中心とした国づくりがたいせつだと思います。」と

思いを語ってくれた。今後については「中小企業への技術支援とともに中小企業が外国資本の流入や後継者の問題などたいへん困っている現状の中で、子どもたちに『物づくり』のおもしろさ、たいせつさを理解普及させるお手伝いができればいいなと考えています。そして今の子どもには、一生懸命勉強して自立心のある、たくましい成人に育ってほしい。」と最後に教育委員としての言葉も話してくれた。



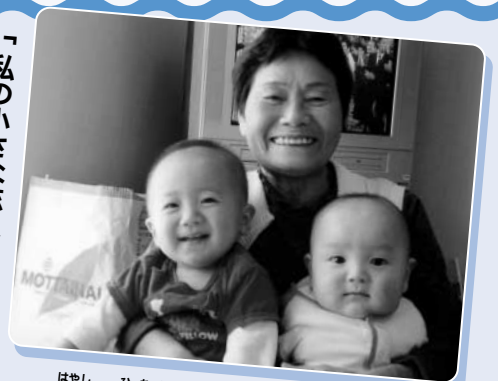
小学校での特別授業の様子



「歩行器でどこでもスイスイ!!」
とよだ まゆこ
豊田 真優子ちゃん（7ヶ月）



「上手に撮れたよ。世界で一番かわいいネ。」
とねがわ こうた
利根川 幸太くん（1歳）



「私の小さな恋人達♡」

はやし ひなた
林 陽太くん（1歳）
はやし りょうた
林 亮太くん（8ヶ月）



お子さんの写真を募集しています 氏名（保護者とお子さん）・生年月日・住所・電話番号・写真にコメントを添えて、直接または、封書で郵送してください。年齢については、1月1日現在で掲載しています。

投稿先 〒349-0292 白岡町大字千駄野432 白岡町町民活動推進課広報聴広報担当
☎(92)1111 内線352・353